

さまざまな職業で活躍する人に、仕事の魅力ややりがいなどを伝えてもらうコーナーです。
今回は「電気工事士」の齊藤育也さんです。



お仕事探検



電気工事士

齊藤育也さん(34歳)
(神戸電気株式会社)

どんなお仕事をしているのですか？ お仕事内容を教えてください。

私の仕事は電気工事士です。電気工事士とは電気エネルギーを「安全」「便利」に使っための工事をする技術者です。照明に明かりを灯したり、コンセントに電気を送り電気製品を使えるようにしたり、エアコンや換気扇が動くように工事をしたりします。

なぜこのお仕事をしようと思ったのですか？

きっかけは、「コンセントに順番と電気製品が動くのはなぜだろう？」「スイッチを押すと明かりが点くのはなぜだろう？」と小さい頃に疑問を持ったことです。小学生の時には父に協力してもらいペットボトルを使った照明の工をしました。

とても楽しく、「電気」と「モノづくり」の仕事に興味を持ちました。

お仕事をやる中で、気を付けていることはありますか？

電気はとても便利なエネルギーですが、目に見えず、扱い方を間違えると危険な場合もあります。危険が無いように、専門の知識や資格を持って、安全に電気を扱うように普段から気を付けています。

大変なことは何ですか？

電気工事は建設工事のひとつの分野です。建設工事ではさまざまな工事（電気屋、水道屋、大工など）が力を合わせて仕事をします。スムーズに仕事を進めるために、作業の場所や順番を調整する必要があるのですが、大変な面もあります。

将来、この仕事に就くために、どんなことをしたら良いですか？

身近な色んなところで電気エネルギーは使われています。「どういう仕組みなんだろう？」「こんなことは出来ないか

このお仕事をしていて良かったな、と思うのは、どんな時ですか？

工事に関わった建物などが完成した後、それが形として永く残り、色々な方々の暮らしに役立っているのを見た時です。

な？」と興味を持つことが大事だと思います。

今後、挑戦してみたいことや目標などがあれば教えてください。

この仕事はとても幅が広く奥が深いです。私もまだまだ知らないことがあるので、新しいことにも挑戦し、知識や創造力を高めていきたいです。

お仕事上でのエピソードを一つ教えてください。

何かの故障などで電気が使えなくて困っている方の所へ行き、使えるようにしてあげるととても感謝されます。電気が使えることがありがたさを皆さんが実感する瞬間だと思います。



お仕事の様子

出雲の小学生たちへのメッセージ

電気工事は皆さんが生活していくうえで欠かせない仕事です。この先もずっと人々に必要とされる仕事であることを覚えておいてほしいです。

小児科・内科

医療法人 芦沢医院

芦沢 隆夫

出雲市塩冶町852
TEL (0853) 22-8228

MKFC
みもりキッズ・ファミリークリニック

院長 南 憲明

〒693-0051 島根県出雲市小山町442-2
TEL: 0853-25-8860 / FAX: 0853-25-8870
ホームページ <https://www.mimori-kids.jp/>



胃カメラ・大腸カメラ

小学生の定期予防接種も受付中

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○	/	○	/

永岡内科医院 院長 永岡 真

お問い合わせはお気軽に

出雲市 塩冶町1156 ☎0853-31-9963
URL <https://www.nagaokanaika.info/>

